

湖東普及だより

第31
春号

編集発行
滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：北川 良治）
（湖東農業普及指導センター）
〒522-0071 彦根市元町4番1号 二次元コードはこちら→
TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp
ホームページアドレス：http://www.pref.shiga.lg.jp/hikone-pbo/nogyo/
Facebook アドレス：https://www.facebook.com/hukyuudayori.kotou



やさし 「おだいどこ野幸」がオープン



～農事組合法人ファームかなやが農家レストランの運営に挑戦！～



Lunch Time 11:00～14:00

「おだいどこ野幸」のこだわりは、地元産の野菜をふんだんに使った、野菜の旨みを生かしたおだいど料理。野菜の旨みを生かしたおだいど料理。野菜の旨みを生かしたおだいど料理。

こまめランチ

- 揚げたて 黒豆コロッケ
- 黒豆味噌スープ
- 黒豆
- 季節野菜たっぷり（物量減り）
- 白米

野幸ランチ

- 揚げたて 黒豆コロッケ
- 黒豆味噌スープ
- 黒豆
- 季節野菜たっぷり（物量減り）
- 白米

Oyatsu Time 14:00～16:00

「おだいどこ野幸」のこだわりは、地元産の野菜をふんだんに使った、野菜の旨みを生かしたおだいど料理。野菜の旨みを生かしたおだいど料理。野菜の旨みを生かしたおだいど料理。

こびるセット

- 揚げたて 黒豆コロッケ
- 黒豆味噌スープ
- 黒豆
- 季節野菜たっぷり（物量減り）
- 白米



（農）ファームかなやは、2013年の法人化後まもなく加工部を設立し、特産のもち米や大豆を使った大福、黒豆コロッケ等の惣菜を町内の道の駅で販売してこられました。このほど、新たな取組として、農家レストランを町の支援を得て開始されました。

「おだいどこ野幸」のスローガンは、「美味しい・嬉しい・楽しい」。

四季折々の地元の野菜をふんだんに使った手づくり料理の提供を通じ、地産地消を推進するとともに、女性の活躍と地域住民が集う憩いの場づくりによる集落の活性化や、金屋集落および甲良町のよさの発信といった将来ビジョンの実現をめざし、日々奮闘されています。

お問い合わせは、おだいどこ野幸 0749-20-7077まで。

やさしさは みんなのえ顔 つつみます （彦根市 はーとふるメッセージ 2017 入賞作品）

台風に負けない園芸施設を目指して

台風21号は、彦根地方气象台で風速46.2m/sの最大瞬間風速を観測し、管内で過去最大の163棟のパイプハウスが倒壊（全壊、半壊）する甚大な被害を受けました。

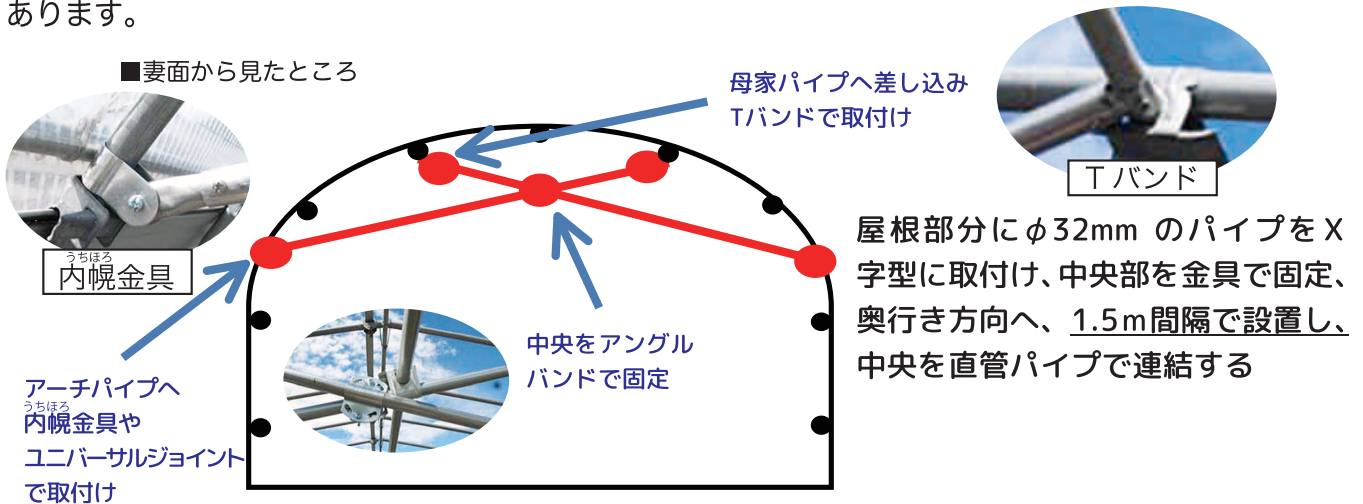
今後も今回以上の気象災害が発生する可能性があります。今回の被害の教訓から得た事例をもとに、ハウスの強風対策を紹介します。

今できる補強対策

パイプハウスは、一定の風速の範囲内なら変形しても元に戻る復元力を持っていますので、パイプφ32mmでは風速35m/s程度までは耐えられます。しかし、風速40m/sになると復元できず、潰れてしまいます。そこで強風が吹いた時にも耐えられるよう簡易な補強方法を紹介します。

① X字型補強

アーチパイプと同じφ32mmの直管パイプをハウス内にX字型に取り付け、アーチパイプの変形を抑えます。数多く取り付けると、補強効果が高くなります。横からの風だけでなく、積雪にも効果があります。

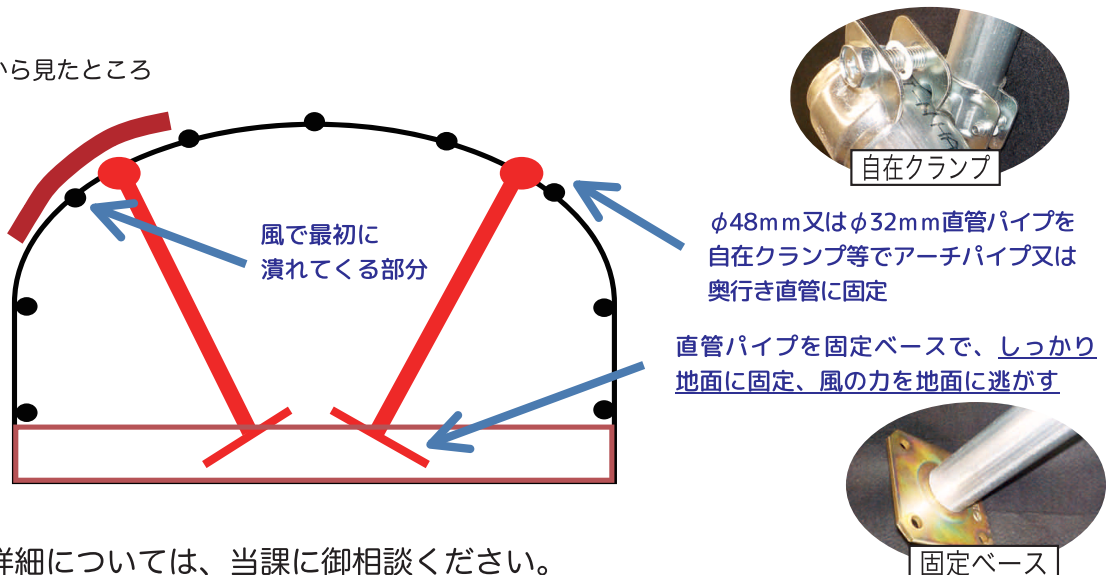


② つっかえ棒で補強

風を受けた時、初めに变形しやすい部分（アーチパイプの棟と肩との間）のアーチパイプや奥行き直管にφ48mm又はφ32mmの直管パイプを自在クランプ等で繋げ、つっかえ棒とします。ハウスが受ける風の力をしっかりと地面に逃すことがポイントです。

パイプに固定する場所は、被覆資材が破れないよう、養生します。設置の間隔は2～3mとします。

■妻面から見たところ



◎補強技術の詳細については、当課に御相談ください。

GAPに取り組んでみませんか

ギャップ

GAPとはGood Agricultural Practiceの略で、日本語では「農業生産工程管理」と訳されています。生産者が農産物の生産にあたり、準備から出荷までの過程で注意をしなければならないことを整理して、危害(リスク)を未然に防ぐためのルールを自らが作り、実践し、記録・評価することで、安全で安心な農産物の生産につなげていく取り組みのことです。

GAPをすることから始めよう

農業生産においては様々なリスクが隣り合わせになっています。例えば、農作業でのケガや事故、農産物への異物混入、農薬の誤使用があります。GAPでは、リスクを防ぐための点検項目があり、その項目をチェックすることで安全で安心な農産物が提供できているかを確認することができます。滋賀県では、滋賀県版GAPから取り組むことを勧めています。

滋賀県版GAPは国のガイドラインにも準拠しています

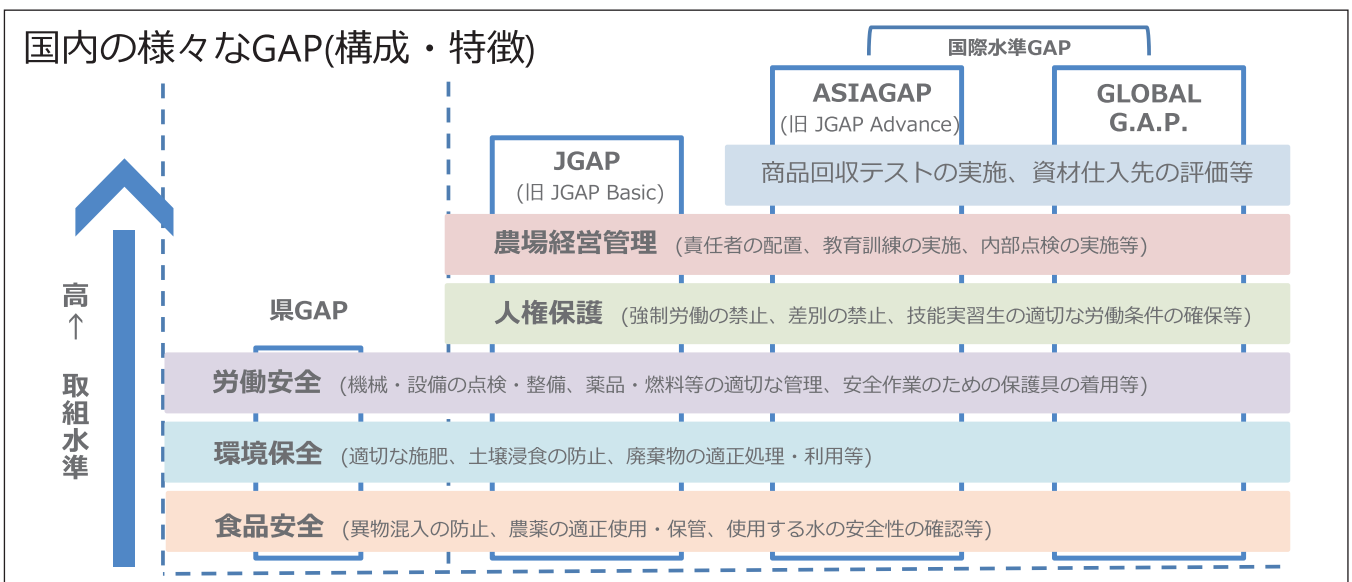
滋賀県版GAPは琵琶湖をはじめとする環境保全、労働安全の確保、経営の改善を図ることを目的としています。

滋賀県版GAPの点検項目は国のガイドラインにも準拠しています。様式は食のブランド推進課のホームページから入手ができます。届け出や認証は不要なので、日頃の農作業管理がどこまでリスク防止できているか、自己確認から始めてみましょう。



国際水準GAPの認証でレベルアップを目指そう

大手スーパーでは、安全で安心な農産物を消費者に届けるために、GAP認証を受けている農場から仕入れる傾向が高まってきました。このため、国内流通もGAPの取り組みが重要となってきます。国際水準GAPには、JGAP、ASIAGAP、GLOBAL G.A.P.があり、運営主体や点検項目が異なります。県内では水稲、トマト、緑茶、なし、ぶどう、肉用牛などの認証組織数が11例あります。皆さんも取引相手の求めに応じたGAPの認証取得を目指してみませんか。



褒章・表彰を受けられました！

平成30年「春の褒章」受章 吉岡 榮一さん

吉岡榮一さんが平成30年「春の褒章」を受章されました。昭和38年に水稻種子生産を本格的に開始し、規模拡大されてきました。栽培では成苗育苗による高品質生産や、異品種混入を防ぐためのほ場内の異株抜取りなどの基本技術を徹底し、今では県内約2割の種子を生産し、種子生産農家の模範となり、地域を牽引されています。



また、堅実な人柄や高度な技術により地域リーダーとして高く評価され、農業協同組合理事など多くの役職を歴任し、地域農業の発展に大きく寄与されました。

このような功績が認められ今回の受章となりました。さらなる活躍が期待されます。

豊かなむらづくり全国表彰 農林水産大臣賞 ^{つづら}葛籠町自治会（彦根市）



農業を核に集落が一体となったむらづくりを展開されている点が評価されての受賞となりました。

集落住民全員の承認により「集落営農ビジョン」を策定（平成4年）以降、現在もビジョンの理念や行動計画を継承。農業組合や農地・水・環境保全向上活動組織、農事組合法人つづらファーム等と連携し、持続性の高い農業の実践をめざしつつ、美しい農村環境の維持や子どもたちへの環境教育のほか、コミュニティ活動、女性を主体とした6次産業化にも取り組まれています。

STOP！農業濁水～春作業に向けて今一度確認を～

近年、田植期間が長期化してきており、農業濁水の発生も長期化してきています。それだけ長い間農業濁水が発生しているわけですが、濁水が出ているという事は水や肥料を無駄にしていることに他なりません。

農業濁水のほとんどは、入水後水田畦畔からの「漏水」「落水」「溢水」によって起こります。濁水を減らすために以下の点に注意して作業してください。



農業排水対策のポイント！！

- ①入水前に、あぜ塗り機で畦畔をあぜ塗りする
- ②あぜ塗り後に、あぜ際をトラクタ後輪で踏みしめて漏水を防止する
- ③水を入れる前に尻水戸を土できっちりふさぐ
- ④入水後は、排水路に水が漏れていないか確認する
- ⑤浅水代かき(土が見える割合70～80%)を行うために、必要以上に水を入れない
- ⑥最初の代かき作業は、周囲からていねいに行う
- ⑦田植え前の強制落水は絶対にしない

濁水だけでなく、川にゴミを流さないようにして、農業から琵琶湖をきれいにしていきたいと思います。

この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。